

VII 地域教育研究センター

地域教育研究センターは、本学が、社会に貢献する大学として、地域コミュニティに根ざし、また、未来を拓く「知の拠点」としての役割の強化並びに本学の教育理念である「地域社会志向教育」を実現するために、平成24年4月に活動を開始した。令和4年には設立10年を迎えた。

1. 地域教育研究センターは、中山間対策など高知県や地域が抱える現状や課題、ニーズを把握し、県・市町村や地域の諸組織、本学卒業生などとともに本学との協働体制を構築し、機能させる仕組みづくりを行い、全学体制で課題解決に取り組む。
2. 地域課題に関する情報を入手できる環境を整備し、学生が主体的に行動できるよう、プログラムや支援体制を充実させる。
3. 公開講座、県民開放授業、履修証明プログラム、科目等履修生制度等を活用し、県民が学び続けることのできる生涯学習プログラムを構築し、実施する。
4. 専門職者を対象とする研修会やリカレント教育を実施し、最新の知識や高度な技術を伝え、専門職者の力量アップを支援する。
5. 地域の教育機関や行政等との連携を図り、共同事業等を通じて、児童や生徒の学問に対する興味や関心を高めるための公開講座や出前講座等の学習支援活動を実施する。

<事業実施状況>

【履修証明プログラム】

平成26年度から「履修証明プログラム」を開始している。
昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集中止となった。

【高知県立大学県民開放授業】

県民開放授業は、平成14年度後期から、文化学部公開講座の一つとして始まった。平成25年度には、地域教育研究センターが「AERU県民公開授業」を開始した。平成26年度からは、上記2つの事業を統合し、「高知県立大学県民開放授業」を実施している。
昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、募集中止となった。

【高大連携事業】

(1)小・中・高等学校への出前講座

学問に対する興味・関心を高め、大学で学ぶことの魅力や楽しさについて知っていただくことを目的に、高知県内の小・中・高等学校の児童、生徒を対象に、出前講座を実施している。15校から要請を受け、派遣した教員数は23人、延べ受講者数1902人であった。

No.	学校名	実施日	対象者	テーマ	受講者数 (人)
1	仁淀川町立仁淀中学校	令和5年5月22日	中学2～3年	地域福祉のおもしろさ:住民主体の幸せ おまち・むらづくり	22
2	高知県立室戸高等学校	令和5年6月19日	高校2～3年	漢詩・漢文全般について	21
3	高知県立高知追手前高等学校	令和5年6月24日	高校生	貧困と病気の関係	43
4	四万十町立興津小学校	令和5年6月30日	小学3～4年	漢字のしくみ、漢字の面白さ	4
5	仁淀川町立仁淀中学校	令和5年7月11日	中学生	マイノリティって何？	29
6	宿毛市立平田小学校	令和5年7月18日	小学6年	心理学ワールド	12
7	土佐中・高等学校	令和5年7月18日	中学1年	アニメ、漫画等のポップカルチャーがまちを救う？ 地域作りを考える ことばの楽しさ、面白さー日本語から見た英語、英語から見た日本語ー われわれはなぜ「読む」のか「学ぶ」のか？ 生活の中の法律	253

No.	学校名	実施日	対象者	テーマ	受講者数 (人)
8	高知市立十津小学校	令和5年10月14日	小学4年、保護者	巨大地震に備え今すべき食料備蓄	106
9	高知県立高知小津高等学校	令和5年10月17日	高校生、教職員	自然災害、地域防災、地球科学	883
10	高知学芸中学・高等学校	令和5年10月20日	中学3年、高校1年 ほか	看護学を学ぶ意義や魅力について	46
11	高知県立安芸高等学校	令和5年11月20日	高校1～2年	異文化理解の面白さ	167
				看護の仕組みを考える	
				少子高齢化って何が問題なの？	
				土佐の伝統食について	
12	高知県立国際高等学校	令和5年11月24日	高校生	災害看護に関する講義と演習	243
13	高知県立春野高等学校	令和5年12月14日	高校2年	日本語と他の言語との比較から見える世界	33
14	高知県立宿毛高等学校	令和5年12月18日	高校2年	看護を学ぶということ/看護の専門性	29
				障がい入門	
15	宿毛市立平田小学校	令和6年2月9日	小学6年	楽しく学ぶ異文化理解 こんなに違う世界や地域の常識	11

(2) 高校生のための公開講座

高校生が、大学の教育・研究に触れ、学問に対する興味・関心を深め、学びの楽しさについて知っていただくことを目的に実施している。全4回開催し、延べ受講者数191人であった。

	実施日	テーマ	対象者	受講者数 (人)
県大立志塾2023	令和5年6月3日	高知県の地域課題に向けての住民と学生の取り組み	高校生	81
	令和5年9月30日	地域の資源を見つける力、とは？～なんでもないものに価値がある～	高校生	31
	令和5年12月9日	南海トラフ地震、発生後の食生活はどうなる？	高校生	36
	令和6年2月10日	未来の地域をデザインする —住民・学生・関わる人々が共創する健康な地域づくり—	高校生	43

【「知の拠点」としての多様な生涯学習の機会の提供】

地域の人々の知の探究を支援する事業の展開及び地域の教育力向上のための活動を行っている。

1. 公開講座

(1) 県民大学公開講座

「知の拠点」として、県民を対象とした公開講座を随時開催している。YouTubeを利用したオンラインで開催した。延べ受講者数515人。

テーマ		実施日	対象者	受講者数 (人)
豊かな暮らしにつながる学び	① シン・オリンピック考	令和5年7月11日～7月17日	県民他	43
	② こころの病をもつ人と共に	令和5年7月18日～7月24日	県民他	70
	③ 東日本大震災リフレクション～認知症の人と家族はその時どうなった？～	令和5年7月25日～7月31日	県民他	104
	④ 口から生命を紡ぐ	令和5年8月1日～8月7日	県民他	54
	⑤ 英国の文化と出会った高知―聖公会との歩みから考える高知の文化―	令和6年1月16日～1月22日	県民他	47
	⑥ 私たちだって働きたい～障害者雇用の現場から～	令和6年1月23日～1月29日	県民他	61
	⑦ 「住み慣れた地域で最期まで」を実現するしくみについて考える	令和5年1月30日～2月5日	県民他	67
	⑧ 健康寿命を延ばそう-糖尿病について-	令和6年2月6日～2月12日	県民他	69

(2) 第40回本山町・高知県立大学公開講座「夜學」

本山町と本山町老人クラブ連合会、本学の3者で公開講座協定書を締結し、10回の公開講座を行った。受講者延べ143人、7講座以上受講した方に、修了証書を発行した。

No.	公開講座「夜學」講座内容	実施日	対象者	受講者数 (人)
1	土佐の伝統食について	令和5年5月12日	本山町民他	17
2	出産・子育てと健康	令和5年6月1日	本山町民他	11
3	災害時の食事	令和5年7月26日	本山町民他	13
4	心の健康	令和5年8月24日	本山町民他	14
5	健康体操	令和5年9月5日	本山町民他	12
6	それってほんとに「できない」の？ 発達障がい者支援が教えるヒント	令和5年9月13日	本山町民他	23
7	からだに働く食品成分	令和5年10月5日	本山町民他	11
8	翻訳の悦び、注釈の楽しみ ―いま改めて、世界文学を読む	令和5年11月23日	本山町民他	7
9	こんなに違う世界の学校	令和5年11月29日	本山町民他	14
10	人間はなぜ生きるのか	令和5年12月19日	本山町民他	21

(3)安芸市シルバー短期大学

安芸市と本学との包括連携協定に基づく連携事業の一つとして、安芸市社会福祉協議会が開催している「安芸シルバー短期大学」に本学教員が講師として登壇した。

No.	テーマ	実施日	対象者	受講者数 (人)
1	高知にある良いコト・モノ	令和5年6月23日	安芸市民他	29
2	知ってびっくり！意外に知らない土佐の食材にまつわる雑学	令和5年7月28日	安芸市民他	27
3	明治期の高知の新聞－自由民権と文化	令和5年9月22日	安芸市民他	32
4	高齢者が元気になる介護予防	令和5年11月24日	安芸市民他	29

(4)文化学部主催・地域教育研究センター共催公開講座

第一部では、中国古典文学の中でも、名前だけには有名な一方で、難解なことで知られる「金瓶梅」の新訳を現在精力的に進められている田中智行先生に「翻訳・注釈」を切り口にご講演をいただいた。

第二部では、高知県立大学文学部の教員を中心に、日本文学、アメリカ文学、中国文学の立場から個別発表とパネル討議を行った。

テーマ:「翻訳の悦び、注釈の楽しみ ―いま改めて、世界文学を読む―
日 時:令和5年11月23日(木・祝)13:00～16:40
場 所:永国寺キャンパスA101講義室
開催方法:対面、Zoomによるオンラインライブ配信のハイブリッド開催
参加者数:89人

第一部 基調講演
「古典翻訳という冒険－中国四大奇書『金瓶梅』新訳に挑む」
大阪大学大学院人文学研究科准教授
田中 智行 氏

第二部 個別発表
①「中国怪奇小説集『聊斎志異』の翻訳世界」
高西 成介(高知県立大学文化学部教授)

②「明治文学への注釈と読解－注釈の正しさ読解の力学」
田中 裕也(高知県立大学文化学部准教授)

③「もうひとつの声－テキストとしての注釈」
山口 善成(金沢大学国際学系教授)

パネル討議
パネリスト:田中 智行、山口 善成、田中 裕也
司会進行:高西 成介

【「県民大学」学生プロジェクト 立志社中】

平成25年度から、地域の課題解決に主体的に取り組む学生を大学として支援する「立志社中」をスタートさせた。11年目となる令和5年度は、8プロジェクト、188人の学生が地域活動に参画した。

(1)令和5年度採択プロジェクト「立志社中」

No.	プロジェクト名	チーム名	活動エリア	参加 学生数 (人)	交付額(利息含) [執行額]
1	Revive～地域を知り、繋がりを取り戻す～	活輝創生実行委員会	佐川町	19	269,404円 [50,754円]
2	住民と学生による持続可能な地域づくり	Pシスターズ	高知市、安芸市、 三原村、仁淀川町	38	179,677円 [128,141円]
3	池地域まるごとサロン活動「池ステップアップ活動」	いけいけサロン活動	高知市	14	115,000円 [2,674円]
4	健援隊Welfareプロジェクト	健援隊	高知市、香美市	27	144,900円 [116,059円]
5	～誰一人取り残さない街づくり～	UOK手話サークル	高知市	46	183,350円 [132,052円]

No.	プロジェクト名	チーム名	活動エリア	参加 学生数 (人)	交付額(利息含) [執行額]
6	魅せよう！立川プロジェクト～立川の魅力を伝え隊～	おおとよ探検隊	大豊町	9	299,386円 [182,153円]
7	～次世代へ伝えよう～奈比賀地区いいとこプロジェクト	奈比賀応援団	安芸市	6	149,952円 [92,276円]
8	学生と地域をつなぐ架け橋づくり	かんきもん援農部門	安芸市、四万十市	29	134,045円 [110,351円]

(2)その他の活動

No.	事業名等	テーマ等	概要
1	プレゼンテーション及び審査会	【立志社中】プレゼンテーション及び審査会 日時:令和5年5月28日	応募のあった8件のプロジェクトについて、プレゼンテーション及び審査会を実施し、採択プロジェクトを決定した。
2	第1回スキルアップセミナー	テーマ:「地域活動とはじめ」 日 時:令和5年6月10日 講 師:津野町まちづくり推進課 小笠原 知美 氏	地域の方の視点、行政職員の視点で、地域活動の留意点や学生に期待することを自身の立志社中の活動経験を踏まえ、お話しいただいた。
3	第2回スキルアップセミナー	テーマ:「伝わる企画」 日 時:令和5年9月22日 講 師:佐川町産業振興課 森 稚奈 氏	実際の企画書作成・発表などをおして、チームの活動が”伝わる”手法を学ぶことで、その後の地域活動に自信をもって取り組んでもらう。
4	中間報告会	【立志社中】中間報告会 日時:令和5年11月12日	各プロジェクトの半年間の活動を振り返り、プロジェクトの進捗状況及び後半の活動予定の報告を行った。
5	第3回スキルアップセミナー	テーマ:「ファシリテーション研修」 日 時:令和6年1月12日 講 師:株式会社 わらびの 代表取締役 畠中 智子 氏	地域の方等とのグループワークにおけるファシリテーションはもとより、意見のまとめ方、見える化などの手法を学ぶことで、自身のグループ内での話し合いなどにも活かしてもらおう。
6	活動成果報告会	【立志社中】活動成果報告会 日 時:令和6年3月3日	各プロジェクトの活動を報告・評価し、成果や課題を共有することを目的として開催した。

【令和5年度全国公立大学学生大会 LINKtopos2023への参加】

11回目を迎える本大会は、昨年に引き続き、対面開催となった。全国23の公立大学から96人の学生が参加した。本学からは立志社中グループから学生1人、職員1人が参加し、全国の公立大学の学生・教職員と交流した。

テーマ：「彩(いろどり)」
 日 時：令和5年9月4日(月)～9月6日(水)
 場 所：沖縄県立芸術大学、沖縄県立看護大学

【コミュニティサービslラーニング(CSL)サポートデスク】

地域の抱える課題を認識し、課題解決への関心を高めた学生が、専門的な知識や技術など大学での学びの成果を活かして、域学共生の理念に基づき、ボランティア活動を行うコミュニティサービslラーニングを支援するための窓口として、平成28年5月から地域教育研究センターに設置している。

(1)ボランティア情報受付実績

延べ参加者数:240人

No.	概要	団体名	件数	参加者数
1	小1サポーター	高知市教育委員会	1	延べ83人
2	小・中学校での学習支援	高知市教育委員会	1	延べ69人
3	小津高校SSH事業課題研究TA	高知県立高知小津高等学校	1	11人

No.	概要	団体名	件数	参加者数
4	生徒の学びサポート事業(学習支援員事業) 学習支援員	高知県立高知丸の内高等学校	1	延べ41人
5	小・中学校での学習支援(夏季)	三原村教育委員会	1	5人
6	盆行事「うぐるファミリーフェスティバル」の運営支援	高知県集落活動センター連絡協議会	1	3人
7	鶴来島の秋祭り(春日神社大祭)の運営支援	高知県集落活動センター連絡協議会	1	6人
8	下川口家みそづくり体験及び直販所運営支援等	高知県集落活動センター連絡協議会	1	6人
9	地域での餅つき行事支援等	高知県集落活動センター連絡協議会	1	5人
10	ボランティアガイダンス2023の運営業務	NPO高知市民会議	1	7人
11	久重小学校区運動会の運営業務	久重体育会(本学専任教員企画)	1	4人

【包括連携協定】

本協定は、各市町村や企業・NPO法人等の団体と本学が多様な分野で緊密な協力関係を築き、持続・発展的に連携を深めることにより、未来を担う人材の育成や活力ある地域社会の形成・発展に寄与することを目的とする。

協定締結団体との連携

No.	団体名	事業名	期間等	概要	参加者等
1	高知市	小1サポーター	入学当初から11月までの月曜日から金曜日	高知市立小学校第1学年の学習や生活支援への学生ボランティアの募集、取りまとめと高知市との調整を行った。	本学学生延べ83人
2	高知市	学習支援ボランティア	月曜から金曜、夏期・冬期の休業中	高知市の小・中学校へ学習支援への学生ボランティアの募集、取りまとめと高知市との調整を行った。	本学学生延べ69人
3	三原村	学習支援ボランティア	令和5年8月28日～9月1日	三原村の小・中学校へ学習支援への学生ボランティアの募集、取りまとめと三原村との調整を行った。	本学学生5人
4	NPO高知市民会議	ボランティアガイダンス2023	令和5年11月18日	ボランティアガイダンス当日の会場設営や受付、司会などの運営業務を行った。	本学学生7人

【協力団体との連携強化に向けた取り組み】

さらなる連携の強化に向けて、高知県や市町村、学生受入団体等との情報交換を定期的に行っている。

(1)開催実績

No.	会議名	実施日	概要	対象	出席者数(人)
1	連携推進会議(ZOOM開催)	令和5年6月29日	地域教育研究センター及び健康長寿センターと自治体との連携事例について当該連携団体と共に報告を行い、出席者との情報共有や意見交換を行った。	包括連携協定を締結している県内8市町村	46
2	域学共生連連携拡大会議(ZOOM開催)	令和5年9月19日	大学との連携事例を知っていただく機会として、全体報告会と「地域に向けた健康長寿研究の情報発信」「地域に学ぶ、学生が学ぶ」「ポストコロナの国際交流」の3つのテーマに分かれ、本学の教職員による事例発表と併せて、参加者との情報共有や意見交換を行い、諸組織との連携推進に向けた協働体制の構築、強化に繋げた。	高知県及び県内市町村をはじめとして広く一般の方	86